

平成30年度環境・食育校種間連携パートナーズクール事業

## 里山と食から地域の魅力を考えよう！

平成30年6月14日（木）、府立須知高等学校において平成30年度第2回環境・食育パートナーズクール事業を実施しました。

今回は食についての理解を深めることを目的として、京丹波町立和知中学校の生徒が府立須知高等学校食品科学科の生徒、京都大学大学院生と一緒にクラッカー作りとカッテージチーズ作りをしました。

須知高校の先生からクラッカー作りとカッテージチーズ作りのポイントを教えてもらい、先ず最初に焼き上げ作業が必要なクラッカー作りに取りかかりました。その後カッテージチーズを作りました。クラッカーの焼き上がりを待っている間、中学生と高校生は「チーズの秘密」と題した講義を京都大学院生から受け、牛乳の種類、変性を利用したチーズの生成過程、チーズの成り立ちや種類、乳製品の加工について学びました。最後に実際に作ったカッテージチーズについて理論面から学びました。

講義の後、焼き上がったクラッカーに完成したカッテージチーズを乗せて一緒に食べた中学生たちからは笑みがこぼれていました。

体験を終えた中学生からは、「牛乳やチーズについて色々を知ることができてよかった。」「チーズを直ぐに作る事ができたので、家でも実践してみたい。」との感想がありました。一方、高校生からは「中学生と一緒に作業をして楽しかった。これをきっかけに食品加工に興味を持ってもらえたら嬉しい。」との感想や、京都大学院生からは「机上の勉強だけでは退屈してしまう化学分野も普段の生活で役立っていることを実感してもらって興味を持ってもらえたら嬉しい。」との感想がありました。食に関する理論面と実践面をともに学び中学生にとって良い体験となるだけでなく、指導をした高校生、理論面の講義をした大学院生にも新たな気付きがある体験になりました。

次回は平成31年1月下旬に第3回の事業をする予定です。

